

東青山小学校区

令和6年2月
臨時号

令和6年2月28日発行

発行部数 1000部

発行・東青山小学校区コミュニティ協議会

コミ協だより

令和6年元日の夕方、能登半島沖を震源とする、マグニチュード7.6の大きな地震が発生しました。新潟県内での最大震度は長岡市での震度6弱、新潟市西区でも震度5強の揺れを観測しました。特に西区では、液状化現象での被害が多く確認されました。

今回の「コミ協だより」では、この能登半島地震を受け、様々な方々からの声をお伝えいたします。今回の地震を受け、皆さんは今、何を感じていますか？

能登半島地震を受けて

イオン新潟青山店 店長 安藤 孝

この地震を受けて改めて今、思うことは、日頃の備えの重要性です。今回、イオン新潟青山店も大きな被害を受けました。激しい揺れによる天井からの漏水や、天井パネルの落下など、復旧までにおよそ3週間を要しました。そのような地震にも関わらず、大けがをされたお客様や従業員がおらず、避難も素早く行うことができました。これは、日常の災害訓練の賜物であり、従業員一人一人がお客様の安全を確保し、正しく誘導できたことによります。また、お客様も慌てずに従業員の案内を聞き、行動していただけたことも大きな要因です。

今回の地震を教訓に、今後も日々の訓練をしっかり行い、安全で安心できるお店を作っていきたいと強く思っております。

イオン新潟青山店に寄せられた声(店内コミュニティ広場ほかに掲示)

イオン新潟青山店には、地震後一時1000人を超える方々が、屋上駐車場に避難していました。新潟に帰省して買い物中だったという方も多くいたようです。津波警報の発令される中、従業員の皆さんから受け取ったカイロや毛布、トイレに置いてあった紙おむつや生理用品、『必要なものはありませんか』という声に励まされ、ホッとしたとの声が多く届いていました。



地震発生!こんなことを考えていました...



- とにかく怖かった。初めての経験だった(小学生)
- 防災用品も準備していたが、結局何も持たずに避難していた。
- 飼い猫を連れて避難するのか...大変に迷った。
- どこに避難したらいいのか決められなくて、近所の様子を見ていた。
- 県外にいてニュースで知った。自分の家がどうなっているのかがすごく心配だった(小学生)
- 避難をするか、家族で意見が割れてケンカになった。冷静になれなかった。
- しばらく家族と連絡が取れず、とても不安な思いをした。

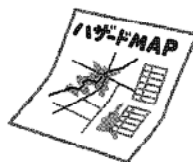
●コミュニティ協議会とは

政令指定都市のスタートに合わせてつくられた地域交流組織です。地域と行政とで互いに良いアイデアを出し合って“住みよいまちづくり”を考えていく組織です(協働のまちづくり)。そのため、これまでの地域組織の多くがコミュニティ協議会メンバーになりました。

●現メンバー

各自治会・東青山小PTA・民生委員児童委員協議会・交通安全推進協議会・東青山小区防犯協会・東青山小区自主防災会・東青山地区社会福祉協議会・東青山楽園キッズ・スポーツ振興会・老人クラブ平島長生会・イオン新潟青山店

総合的な学習 『ひまわり防災プロジェクト』



東青山小学校の5年生は地域の防災について取り組んでいます。昨年11月にはあらためて学校までの通学路で、危険な箇所はないかを調べました。古いブロック塀や大きな看板、見通しの悪い交差点、雨が続きと川の水位が変化することなどを再確認しました。今回の地震では、ブロック塀の倒壊が多く見られました。1月4日に行われた学校職員による通学路点検の際に、5年生が作成した地図が参考になりました。

いつか起きるかもしれない災害のことから、 “自分が地震を経験して考えた、大切な事を伝える”へ

2月6日(火) 東青山小学校 授業参観



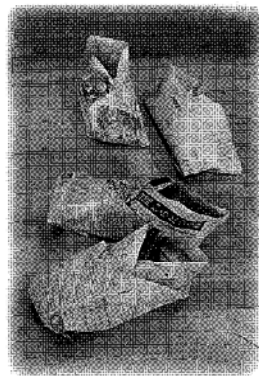
取り組んだテーマ

- 能登半島地震と東日本大震災
- 災害時の自衛隊の仕事と、物資が届くまで
- 赤十字社の災害対応
- 避難所、避難場所について
- これまでの災害をどう生かしていくか
- もしもの時の備えについて など

東青山小学校にも、地震直後およそ80人の方々方が避難して来ていました。東青山小学校は海拔1メートル地点、津波から身を守るためには、校舎の4階に避難することになります。小学校には、新潟市と自主防災会が準備保管している災害備蓄品があります。今回の地震では、ミネラルウォーターやビスケット、毛布を避難している方全員に配布しました。

この学習を通じて…5年生の学習を参観して…

- どうしたら、自分の身を守ることができるのか考えたい(5年生)
- 地域のどこに避難場所・避難所があるのか、家族と確認しておきたいと思った(5年生)
- 防災グッズの準備や、災害にあった時どうするのか家族で話し合おうと思う(5年生)
- 自分が住んでいる地域が、どんな地域なのかを知ることが大事(地域参加者)
- 防災スリッパや、懐中電灯の工夫など、身近なアイデアが良かった(保護者)
- 今回の地震で、他人事ではない、自分たちの言葉で伝えていたのが良かったと思う(保護者)
- 決められた避難行動だけではなく、自分はどうするのかを考えることが大事だと思った(保護者)



あなたの命を守れるのは、あなただけ!

東青山小学校区コミュニティ協議会 会長 風間 一夫

その瞬間、60年前の新潟地震発生時の光景が蘇り、『頼むから、家よ倒れないでくれ』と祈り続け、揺れがおさまるのをひたすら待ちました。皆さん、地震に遭遇したら何が何でも自分の命を確実に守る行動を取りましょう。そして、少し落ち着いたら周囲を見渡し、足元にも目の上にも十分に注意をし、次の一步を踏み出しましょう。“命あつての物种”あなたの命を守れるのは、あなただけです。

※コミ協主催事業の詳細については、コミュニティ協議会事務局までお問い合わせください。
電話・FAX 025-231-9377 (毎週水曜日・金曜日13時~16時頃まで事務局員が常駐しています)